

◆「経済倶楽部講演録」

バックナンバーのご案内

＊9月号 塩田潮「危機の時代と岸田政権の対応力―コロナ・ウクライナ・参院選の行方」吉崎達彦「有事の世界経済を読み解く」〈夏季地区別企画〉石橋湛山「百年戦争の予想」(1941年5月経済倶楽部講演を再録)

＊8月号 渡部恒雄「ロシア・ウクライナ戦争とアメリカの戦略」前田昌孝「株式市場の本当の話」廣瀬陽子「ロシアのウクライナ侵攻と旧ソ連空間の動き」

＊7月号 歳川隆雄「ウクライナ危機」と岸田文雄政権の行方」限部兼作「経済制裁を受けているロシア経済の現状・見通しと課題」庄司克宏「ロシアのウクライナ侵攻後におけるソフトパワーE.U.の現状と展望」河野龍太郎「グローバル経済と日本の超低金利政策の行方」

【編集後記】

岸田政権が今直面している最大の課題は物価の急騰への対処です。すでに消費者物価は超金融緩和と政策解除の目安である2%を大きく超えています。先進国で唯一、金融緩和と政策に固執する理由を黒田日銀総裁は、景気回復の足を引く張ることになると主張しています。日銀はいつから物価の番人から景気の番人に宗旨替えしたのでしようか。物価の上昇の大きな要因として海外の資源価格急騰に加えて31年ぶりの円安が響いていることは明らかです。円安は先進国で唯一金融政策を転換しようとする日本だけの現象です。岸田首相は安倍氏の遺産であるアベノミクスに一刻も早く訣別すべきです。

次号掲載は佐々木恭子氏「ビジネスと生活を変える気象情報の活かし方」、星浩氏「岸田政権の課題」、永濱利廣氏「どうして日本の国力は30年以上も低下し続けているのか?」です。

東洋経済 **経済倶楽部講演録** (2022年10月号)

2022(令和4)年10月20日発行

本書内容の複写・複製・転記載・磁気媒体への入力はお断りします。

発行人 駒橋憲一 編集人 柴生田晴四

発行 東洋経済新報社
編集 一般社団法人 経済倶楽部

〒103-8345 東京都中央区日本橋本石町1-2-1 (東洋経済ビル9階)

電話 03-3270-0681 Fax 03-3270-0987

e-mail; keizaiclub@nifty.com

ホームページ <https://www.keizaiclub.or.jp>

印刷・製本 港北メディアサービス

〈本誌は全国の経済倶楽部会員向けに刊行され、市販はいたしません〉